

『HELIOS Rising Heroes』エンディングテーマ Vol.1

01 LIVE THE MOMENT

歌：サウスセクター（鳳 アキラ、ウィル・スプラウト、ブラッド・ビームス、オスカー・ベイル）

作詞・作曲・編曲：Q-MHz

爽快な空気に 両手を

伸ばせ

つかめそうでつかめない

そんな空（スカイ）

動き出したばかりだと

好奇心で Up to you

なんだこの気持ち 悪くないね

（ウィルブラッド）All right, not bad!

熱くなって まだまだ止まらない

情熱の滑走路には

（ブラッドオスカー）太陽のDilemma 照らしたい 照らされたい

（All）どんな願いでも 叶うまで笑顔と痛みがある

わかったよ だからこそ夢中になれるのかも

真っ直ぐに想いを繋げてみるんだ

（All）今日は今日の風の中を進め

絶対はないから試したい

なんでも

後悔減らす方向で 毎日

よろしく

みんな孤独を知ってる

この街角で

すれ違うとき届いたんだ

(アキラオスカー) I catch headache!

閉ざしたって 心は騒いでる

期待を高めたがる

(アキラウィル) 未来へStranger 飛ばしたい 飛ばされたい

(AII) きっとこれからも一緒だと感じてる 自分だけ？

そうじゃない そうじゃない 笑いあう声の中

真っ直ぐな想いは繋がるはずだと

(AII) 今日は今日を生きる それが正解

遮られた光

隙間からこぼれて

よりいっそう綺麗に

見慣れた場所に踊る

(アキラブラッド) 太陽のDilemma 照らしたい 照らされたい

(All)どんな願いでも 叶うまで笑顔と痛みがある
 わかったよ だからこそ夢中になれるのかも
 真っ直ぐに想いを繋げてみるんだ
 (アキラウィル)今日は今日を生きるだけ
 (ブラッドオスカー)瞬間を生きるだけさ
 (All)今日は今日の風の中を進め

02 Casual new adventure

歌: ウエストセクター(レオナルド・ライト・Jr、フェイス・ビームス、キース・マックス)
 作詞・作曲: Q-MHz 編曲: 柳館 周平

(All)晴天だったかい? 今日の自分
 ほら考えナシで言ってみなよ
 (All)上々だったさて **Clapping hand, oh yeah!**
 落ち込んでもそんなの忘れて

出来たコトを数えようよ
 無理だったコトは**Don't mind**
 明日また**Let's try**
 一歩じゃなくても 半歩でいいんだっけ?
 前を向いてりゃ いつか驚きのジャンプ
 ありふれた満足 **No no!** 変化を
 先天的ワガママモード

(ジュニアフェイス) 3,2,1,Zero Count down なに起こるんだ？

ちょっと待って 待ってないよ

足元踊るつもりはないのに 踊れ積極リズム

(All) 真剣だってユカイになりたい

楽しんでやろうよ

(All) 隣の新天地へ 遊びに行くような軽い設定で

Take it easy now

余裕で **Start!** 笑って **Start!!**

(All) さらに前進 きっとスゴイ展開の予兆

まだ経験足んない気がして

(All) きっと大きな場所へ **Hurry up!**

まだ上昇足んない気がして

とりあえずいつちよやってみるか

おう、やってみっか 的に すぐ

Stand-by して **Challenge**

ほら ほら このくらい **Inatant**

思い立ったが吉日 思い立たないなら凡日

どっちでもちゃんと夜は来る **Good night,zzz...って！**

No no 呑気もいいけど やっぱ**No no** 呑気は損気かな？

Wake up (Wake up!) **Wake up** (Wake up!) 今日こそは

昨日の躊躇は棚に置いて新しい自分お目覚め

Wake up (Wake up!) Wake up (Wake up!)

やってみるか!

(All) 成長したいってさ 願うのも成長だと思うから

Take it easy now

華麗に **Start!**笑って **Start!!**

きっと進むだけ

(All) 幸せになるから **Oh yeah!!**

成長したいってさ 願うのも成長だと思うから

(All) **Take it easy now**

(フェイスキース) 華麗に **Start!**笑って **Start!!**

(All) 隣の新天地へ 遊びに行くような軽い設定で

Take it easy now

余裕で **Start!** 笑って **Start!!**

(All) さらに前進 きっとスゴイ展開の予兆

(ジュニアキース) まだ経験足んない気がして

(All) きっと大きな場所へ **Hurry up!**

(フェイスキース) まだ上昇足んない気がして

(All) 晴天だったと言いたい **Everyday!**

03 Original Drama Track「オスカーさん、風邪を引く」

出演: サウスセクター (鳳 アキラ、ウィル・スプラウト、ブラッド・ビームス、オスカー・ベイル)

オスカーさん、風邪を引く

オスカーさん、感冒了

アキラ: 哈啊～～！洗完熱水澡之後，果然就該喝冰涼的牛奶！

ウィル: 我一直都覺得你看起來喝得很美味的樣子呢。

アキラ: 哼～實際上就是很好喝嘛。喝了能強化骨頭嘛，從小時候不間斷的喝到現在的我，也就是、擁有強壯骨骼的男人！

ウィル: 啊哈哈...要是受涼了會感冒，要注意點哦。

アキラ: 我知道啦—話說我又不會感冒，也沒感冒過。

ウィル: 入所式的那個又算什麼？又是咳嗽，又是打噴嚏的，狀態不是不好嗎？

アキラ: 那個是【サブスタンス】的關係啦，那不算啦不算。

(開門聲)

アキラ: 嗯？ブラッド，怎麼了？幹嘛拿著枕頭跟毯子？

ブラッド: 唉，我今晚要在這裡睡。很抱歉佔了共用空間，因為有不得已的情況，希望你們能理解。

ウィル: 欸欸？發生什麼事了嗎？

ブラッド: 其實是，オスカー感冒了。

アキラ: 感冒！？真的假的啊...？病毒居然能突破那個肌肉防護入侵嗎？？

ブラッド: オスカー也是會有狀況不好的時候，當然他自己是有在注意自己的身體健康，但他也是個普通人。

ウィル: 狀況大概怎麼樣呢.....？不用找醫生來不要緊嗎？

ブラッド: 有稍微發燒，除此之外的症狀沒有出現。

: 靜養一個晚上應該就會好了，但這是有點棘手的情況呢。

ウィル: 怎麼說呢...？

ブラッド: 對於身體狀況不好這件事感到懊悔，好像也對我感到虧欠的樣子。

:我說了要在客廳睡也沒有聽進去，只好直接出來了。那個樣子看起來應該是還在介意吧。

アキラ:哼—？我去稍微看一下吧？オスカー感冒什麼的難以置信，也想看到到底是什麼情況♪

ウィル:不是難以置信，而是擔心才對吧？

:ブラッドさん，我也一起去，順便注意アキラ沒有做什麼失禮的舉動。

アキラ:啊？什麼都不會做啦，把我當什麼了啊。

ウィル:啊！オスカーさん不知道會不會餓呢？我來煮個粥之類的...

アキラ:什麼！？只有這個絕對不行！吃了那種東西，會好的也好不了！

ウィル:欸？沒有這種事啦...

アキラ:快住手！

ウィル:感冒的時候就該吃粥啊...

アキラ:不用煮粥啦！

ウィル:這種時候.....

ブラッド:.....

:沒等回覆就直接走了嗎。算了，這裡就試著交給新人們了。

アキラ:オスカー—我來囉—

ウィル:アキラ...！太大聲了！オスカーさん現在因為感冒在躺著呢。

:.....！オスカーさん？！

オスカー:.....

ウィル: (哇啊...！很明顯的在沮喪著...坐在床邊的姿勢就像輸了比賽的拳擊手一樣，沒有看過這樣的オスカーさん.....！)

:那...那個...オスカーさん...你還好嗎.....？

オスカー:.....ウィル跟アキラ嗎...不要過來.....靠近我會被傳染感冒的。

ウィル: (嗚嗚.....連內心也封閉起來的樣子.....怎麼辦...要謹言慎行才行...！)

アキラ:什麼啊，你這樣還真是讓人看不下去呢。

ウィル: (啊啊！？アキラ？！！！！你在說什麼啊！！！說那種像是在傷口上撒鹽的話！！？)

アキラ:我聽ブラッド說了喔，你都感冒了怎麼醒著啊？不好好休息，能治好的也好不了喔。

オスカー:ブラッドさま.....？.....是嗎...因為感冒的關係，終究是放棄我了嗎.....

ウィル: (オスカーさん——！！！！沒有人說到那種程度啊！！！！就跟ブラッドさん說得一樣，但是比想像的還介意啊——！)

アキラ:.....我看錯你了，オスカー。我原本認為，你是更強的男人。

オスカー:.....哼.....會失望是理所當然的，感冒的那一刻起，我就已經失去擔任你們的導師的資格了。

アキラ:我不是這個意思！我在說的——不是生理上的，而是心理上的強弱！

オスカー:心理上的...？

アキラ:只不過是個小小的感冒，就變得像另一個人一樣，令人失望的樣子啊！

: 要是有所沮喪的閒功夫，不如趕快恢復，讓我看看你的氣勢啊！

ウィル:アキラ！快住口、說過頭了！確實看起來像別人一樣，但是對導師用這種口氣.....

オスカー:像別人一樣.....

ウィル:啊、呃！對不起！オスカーさん！剛才的...那個是.....

オスカー:就像你們說到一樣，不，ブラッドさま剛才說的一定也是一樣的內容才對。然而為什麼我卻沒有注意到.....！

ウィル:オスカーさん.....？

オスカー:謝謝你們，ウィル、アキラ、ブラッドさま.....！與其對自己的錯感到懊悔，不如趕快恢復來回報.....！

:.....

ウィル:啊、咦？オスカーさん鑽進被子裡...？

オスカー:呼...嘶.....

ウィル:好、好厲害...！已經有打呼聲了...！！

アキラ:很好，這才是我認同的強大男人。走囉，ウィル。

ウィル:欸？啊、等等，アキラ！

オスカー:.....

ブラッド:オスカー的樣子如何？

アキラ:那傢伙已經沒問題了哦，明天應該身心都會恢復原狀了。

ブラッド:身心都會？還真是自信滿滿的樣子呢。

ウィル:對不起，好像打開什麼奇怪的開關的樣子.....

:不過オスカーさん，最後有好好睡著的樣子。

ブラッド:是嗎。辛苦了。

: (要是能睡著的話，就不用擔心了吧。交給新人們是個正確的決定呢。)

ウィル: (オスカーさん怎麼理解的完全搞不懂就是了...要能打起精神的話, 就好了吧。)

end_

04 Original Drama Track「夜ひとりでトイレに行けなくなる話」

出演: ウエストセクター (レオナルド・ライト・Jr、フェイス・ビームス、キース・マックス)

夜ひとりでトイレに行けなくなる話

晚上沒辦法一個人去廁所的事

ジュニア: 嗯? キース跟渾蛋DJ.....兩個人在一起看電視還真稀奇。

キース: 是我先在這裡喝酒, フェイス拿著DVD過來的。

フェイス: 嗯, 對啊。有個想看的電影呢。

ジュニア: 電影? 你在看什麼?

(B級電影的慘叫聲)

ジュニア: 什麼嘛, 是恐怖片啊。而且還是用聲音嚇人的類型, 看起來一點都不可怕嘛。

キース: 我也只是隨便看一下, 從剛才開始都是這種感覺喔。不過怪物的外表還算有衝擊性就是了。

フェイス: 兩個人都不怕恐怖片嗎?

ジュニア: 當然, 幽靈跟惡魔? 會怕那種東西怎麼當得了『英雄』啊。

キース: 我也不相信吶—比起那種東西, ブラッド還比較可怕ww

フェイス: 哼~? 是嗎。

: 順便一提, 這片叫做『Goodbye man』。跟片名一樣, 有個名字是『Goodbye man』的幽靈會出來襲擊人的故事。

ジュニア: 『Goodbye man』? 好蠢的名字。

: 好—反正我很閒, 也來看一下吧。

ジュニア: 嘿? 已經結束了? 什麼嘛, 這電影完全不可怕還很無聊欸。

キース: 哈啊—.....結束了嗎? 我從泳裝的小姑娘被襲擊的時候就沒記憶了—

ジュニア: 渾蛋DJ, 你喜歡這種電影嗎?

フェイス: 不是, 我一點也不覺得有趣。只是.....有點好奇而已。

ジュニア:好奇?說起來,為什麼特地到客廳看?平常不都是自己在房間看的嗎。

フェイス:哼哼,因為啊.....啊,來了,現在開始才是有趣的部分,你看畫面。

ジュニア:什麼?.....好像有寫什麼...『Goodbye man會襲擊知曉此名之人,今晚說不定會前去拜訪您...』.....?

:.....!.....這、這種東西只是捏造的故事、演出之類的吧,怎麼可能真的出現—

フェイス:這個電影,在俱樂部的朋友間造成了話題呢。有幾個人真的看到了相似的影子,也有遇到不可思議現象的人呢。

ジュニア:咦?

キース:什麼啊?所以才特地在客廳看的嗎?你還真是惡劣耶。

フェイス:呵呵,也不是想拖你們下水啦。只是覺得大家一起看的話,恐怖的感覺也會減半吧?

ジュニア:咦?咦???

フェイス:好了、我也差不多要睡了。要是今晚『Goodbye man』來襲的話,明天要告訴我喔。

:.....要是平安無事的話,呢。

ジュニア:.....喂、喂!那什麼意思啊!?

キース:只是惡劣的玩笑而已吧,別在意啦。

:話說ジュニア你不是不會怕嗎?

ジュニア:是、是啊.....只是有點不懂他在說什麼而已...我也要去睡了!

キース:好、好,晚安~

ジュニア:.....喂、快起來!睜開眼睛啊、渾蛋DJ!

フェイス:.....什麼?小不點你怎麼了?

ジュニア:.....廁所...跟我去廁所。

フェイス:欸~...?

ジュニア:走啦!叫你跟我去廁所啦!

フェイス:廁所?小不點你該不會是怕了吧?因為睡前看了那種電影,怕了嗎?

ジュニア:才、不是!『Goodbye man』那種的才不會怕!一開始我也是自己一個人去的!只是廁所那裡傳來奇怪的聲音...所以...那個.....

フェイス:奇怪的聲音?

??? :う"え"~~~~~.....

ジュニア:你聽!聽到了吧!?!那什麼啊!?!到底是什麼東西啊!!!

フェイス:小不點果然會怕嘛,緊緊抓著我的衣服。

ジュニア:什！？才沒有抓！也不會怕！你才是為什麼一臉平靜啊！？？

フェイス:唉.....我說啊,普通的想想吧。這個時間、這個地點、還有這個聲音,能正常的判斷的話,一下就能明白了吧？

キース:嗚欸噁噁噁~~~喝太多了.....

:嗚噁噁——

ジュニア:うぎゃあ——っ！！！！出現了——！！！！！！

フェイス:欸！？等、小不點？！

キース:啊——！！

キース:喂、快起來,醒醒啊フェイス。

フェイス:嗯、嗯.....？什麼啊,又來了嗎小不點。

:看了那電影之後也過了一個禮拜耶。

キース:不對啦,不是ジュニア啦,是我啦。

フェイス:咦、キース？

キース:走啦、跟我去廁所。幫我把風看ジュニア有沒有過來。我才不想因為被當成幽靈,再被電一次了啊。

フェイス:唉.....真不該給他們看那電影的。

end_